

## 31 (2019) 年産作付参考値の提示の考え方

平成 30 (2018) 年 10 月 18 日

栃木県農業再生協議会

平成 30 (2018) 年 5 月に策定した「新たな米政策に伴う平成 31 年産以降の対応」に係る 31 (2019) 年産作付参考値の提示の考え方は次のとおりとする。

### 1 県及び市町別作付参考値の算定方法について

国から公表される需給見通しやマンスリーレポート等の情報も参考にしながら、国の提示する 31 (2019) 年産需給見通しの対前年比 (A) により、県及び市町別作付参考値 (ha) を以下のとおり算定し、提示する。

(県段階の作付参考値(ha))
-----------------

$=(30 (2018) \text{ 年産栃木県作付参考値数量換算値}) \times A / (\text{県平均単収})$
--

(市町別段階の作付参考値(ha))
-------------------

$=(30 \text{ 年産各市町作付参考値数量換算値}) \times A / (\text{各市町平均単収}^{\ast})$
--

※ 各市町平均単収について

市町別作付参考値の算定に用いる各市町平均単収は、直近 7 年分のデータで最高値と最低値を除いた 5 年分の平均を用いることとする。